

第7回 明日のビジネスを担う 女性たちの交流会 in 大阪 開催レポート

2018年10月23日、大阪にて「明日のビジネスを担う女性たちの交流会」を開催しました。今年度はNTTコミュニケーションズ監査役の小林洋子氏をコーディネーターにお迎えし、3名のパネリストとともに、キャリアを積む中で得られた経験等について語っていただきました。

パネリスト

- 新屋 和代氏 株式会社りそなホールディングス 執行役
株式会社りそな銀行 常務執行役員
- 中川 智子氏 株式会社ロイヤルホテル 執行役員
- 山崎 有香氏 三洋化成工業株式会社 研究業務本部 研究技術部 部長

コーディネーター

- 小林 洋子氏 NTTコミュニケーションズ株式会社 監査役
※肩書および経歴については交流会開催当時のものです。



「相手に共感して、相手の能力を引き出すことも立派なリーダーシップです」

新屋 和代氏 株式会社りそなホールディングス 執行役
株式会社りそな銀行 常務執行役員

入社して以来31年間この会社に勤めていますが、銀行は転勤が非常に多い職場で、これまで13回もの転勤を経験しました。30歳手前で初めて店舗勤務になり、その後支店長を務め、3年半前に役員となりました。プライベートでは入社5年目に結婚して、36歳で娘をひとり授かり、現在その娘は高校3年生の受験生になっています。

じつは、私はキャリア志向だったわけではなく、以前は上位のポジションを勧められても、すぐに「無理です」と返答していました。ですから、躊躇する人の気持ちはすごくよくわかります。初めてのことがこわかったのです。それも自分に自信がないことに起因していたように思います。でもよく考えてみると、初めてじゃないことのほうが少ないんですよね。どんな組織にもいろいろな職場や仕事があって、異動すれば必ず初めての仕事になりますし、同じタイプの仕事であっても職位が変われば質が変わってきます。ですから、「初めて」というのは当たり前のことなんだと思っ

て行動することを心がけています。子どもが病気になったら、「こんな思いをしてまで仕事をやっている意味は何だろう」と悩んだこともありましたが、プライベートと仕事、両方のステージがあったほうが人生として楽しいし、それが仕事を続ける原動力になっています。中には「自分にはリーダーシップがない」と、管理職に二の足を踏む女性もいるかもしれませんが。私も支店長になったばかりの頃、年上の男性部下との接し方に悩みましたが、その男性部下が「自分はそのやり方でいいと思う。銀行に入って今が一番仕事が楽しいです」と言ってくれたのです。ぐいぐい引っ張っていくことだけがリーダーシップではなくて相手に共感して、相手の能力を引き出すことも立派なリーダーシップだと思います。



「3歳の子どもがいる私に海外勤務のチャンス。思い切って飛び込みました」

中川 智子氏 株式会社ロイヤルホテル 執行役員

ホテルのコンシェルジュとして楽しい毎日を送っていた私に最初の転機が訪れたのは、当社初の女性セールスに任命されたことです。初めて営業先の外資系企業の社長交代パーティを獲得した際、社長の来日予定が変更になり、会場も変更することになったのですが、1カ月前になって、変更した会場ではお客様が入りきらないというミスが発覚したのです。参加者数がどんどん増えてきて、頭は真っ白、顔面は真っ青！もう会社を辞めなければいけない

と思いました。そんな状況を知って上司や関連部署の方々が知恵をだし力になってくださり、なんとか無事に当日を迎えることができました。他人の失敗だからと思わずに支えてくれた皆さんのおかげで、今こうして私が働き続けることができているのだと本当に感謝しています。

結婚して長女を出産した後、当社が海外展開しグアムとマレーシアにホテルを立ち上げることになり、3歳の子どもがいる私に海外勤務のチャンスが訪れました。それが私にとって第2の転機でした。子どもがまだ幼かったので、できるだけ一緒に過ごしたいという気持ちはありましたが、「断ったら次のチャンスは二度と来ないかもしれない、まずはやってみよう」と思い切って飛び込みました。もちろん夫ともきちんと相談しましたし、両親にも協力を頼みました。1年間赴任し、両方のホテルのオープニングに立ち合うことができました。その娘が今、グループホテルに勤めています。私の仕事を一番近くで見ていると理解してくれたことが嬉しかったですね。

チャンスがもし目の前に現れたら、素直な気持ちで自分がどうしたいかを家族とじっくり話しあった上でチャレンジしてもいいのではないかと思います。やってみて駄目だったらやり直せばいいというぐらいの大きな気持ちを持って取り組みれば困難も乗り越えられると思っています。



「不安はありつつも部長を引き受けたことが自分を育ててくれました」

山崎 有香氏 三洋化成工業株式会社 研究業務本部 研究技術部 部長

総合職として入社してからずっと研究部門の分析を行ってきて、2010年に部長に就任しました。分析の仕事はノウハウの塊のようなところもあり、これまで二十数年間、ほぼすべての分析分野を行ってきたという長年の経験があったからこそ、部長という職務をこなせているのかなと思っています。

職場には年上の男性部下も当然います。最初は「なんで女の下で働かなあかんねん」などと言われるのではないかと心配していたのですが、案外、男性は「仕事は仕事」と割り切れるのか、年下の私がお願いする仕事に何ひとつ文句を言わずにきっちりスピーディーにこなしてくれました。

夫とは家事や子育てを完全に分担しています。夫の協力があってから今まで仕事を続けられたと思っています。現在、2人の息子は大学3年生と高校3年生ですが、じつは、長男が中学生の頃に強く反抗していた時期があり、私が仕事をして子どもと接する機会が少なかったからなのかも知れないと悩んでいました。先生との面談でそのことを相談すると、長男が「先生、見て。お母さんが新聞に載ったよ」と私のことが載った新聞の記事を見せてくれたという話を聞き、もう涙が出そうになりました。子どもたちは母親が働いていることを悪くは思っていないのだな、仕事を辞めずに頑張ってきて良かったと思えた瞬間でした。

女性はわりと謙遜して、すごく実力があっても「自分には難しいから、務まらないかも」と遠慮することがあると思います。私も部長への打診があったときに、大丈夫かなという不安はありつつも引き受けたことが、結果的に自分を育ててくれました。「この人ならできる」と思ってチャンスを与えてくれているので、そのときは引き受けてほしいですね。その代わりに、チャンスが来ることを想定して、自分に足りない部分を補うための努力を普段から少しずつ積み重ねることが大切です。



「じつは、課長も、部長も、役員も、ものすごく楽しいのです」

小林 洋子氏 NTTコミュニケーションズ株式会社 監査役

女性の活躍を牽引するのは、トップの強いリーダーシップです。私の経験をお話ししましょう。1999年にNTTは4分割してNTTコミュニケーションズが設立され、別会社になったNTT西日本に営業を頼ることができなくなったので、NTTグループとしては初めて販売代理店を立ち上げることになり、私はその担当をしていました。1000社以上あった代理店の中に詐欺まがいの営業をしていた会社があることが発覚しました。当時、私は部長で、その仕事を任されていたから、責任は私にあります。もともと心臓に毛が生えているタイプなのですが、このとき

ばかりは青くなりましたね。新聞にも書かれ、コールセンターには苦情が1日7千件、さすがにテレビのニュースに「NTT詐欺まがい」と出たときには「これはもう辞めないかん」と思って、人生で初めて辞表を書きました。朝一番で社長のところに行くと、社長は「テレビのことなら、俺は何も気にしてないよ。そういうのは、向こう傷って言うんだ」と。戦で敵と向かい合って正面からつけられた傷は前向きな姿勢の現れだと言うのです。「小林くんが代理店を開拓してこなかったら、会社は潰れていたよ」という言葉に、泣きそうになりました。任せてくれて、そしてすべての局面で決して逃げずに、覚悟を持っているトップの姿勢に本当に痺れましたね。その瞬間から、この会社のために命懸けで働こうと思いました。

特にライブイベント中の女性の環境はどんどん変わります。「今は子育てに軸足を置きたい」、あるいは「先月からお母さんが子どもをみてくれるから自分は仕事に専念できる、海外出張もOK」等、自分の状況や希望を上司やまわりにきちんと伝えてほしいですね。キャリアはそれぞれの人が自然体で積み重ねることができます。そしてじつは、課長も、部長も、役員も、ものすごく楽しいのです。自信がなくても、まずやってみましょう。やってみれば必ずなんとかなります。時代は皆さんの味方です。この追い風に乗り手はありません。

編集後記

「女性活躍推進法」が全面施行されて3年目となる来年4月に、いよいよ「働き方改革関連法」が順次施行されます。また、今年はハラスメントの様々な事案が連日ニュースで話題となる一年間でもありました。「ダイバーシティ推進」と「ハラスメント防止」の両輪での取組みが経営課題となる中、「ダイバーシティ21」では、2019年も皆様のお役に立てる情報を提供してまいりますので、引き続きご愛読くださいますよう、よろしくお願いいたします。㊦

ダイバーシティ 21 DIVERSITY 21 vol.035

2018年12月25日発行
編集・発行
公益財団法人 21世紀職業財団
〒113-0033
東京都文京区本郷1-33-13 春日町ビル3階
TEL 03-5844-1660(代) FAX 03-5844-1670
http://www.jiwe.or.jp